YAMAHA
ご使用の前には必ず取扱説明書をよく読んでください。
取扱説明書
TRICKER
XG250
5XT-28199-J9

JAU27254

ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。
車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。
車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。
また、メンテナンスノート、セーフティガイド（バイクをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。
本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠	**安全にかかわる注意情報を示してあります。**
⚠警告	**取り扱いを誤った場合、死亡、重傷・傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。**
注意	**取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**
要点	正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」「車両受け渡し確認書」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。

- 車の正しい取り扱い方法
- 日常点検、定期点検整備
- 保証内容および保証期間

※ 車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡しください。
※ 仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

もくじ

JAU27281

この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。

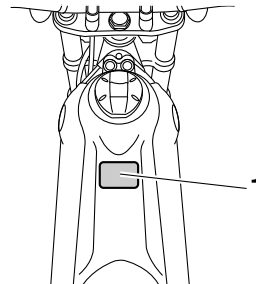
安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

JAU44285

あなた自身と同乗者のために

安全項目ラベルについて

運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。

車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。

1. 安全項目ラベル

⚠ 警　告

· 取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
· ヘルメットを正しくかぶりましょう。
· マフラーは熱くなります。人が触れにくい場所に駐車する等の配慮をしましょう。
· ヘッドランプを昼間はロービーム点灯しましょう。
· 違法改造はやめましょう。
· 定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

安全運転は正しい服装から

● ヘルメットは必ず着用してください。ヘルメットは PSC または SG、JIS マークのある二輪車用を必ず着用してください。ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしっくり合って、圧迫感のないものが最適です。

● グローブを必ず着用してください。グローブは、摩擦に強い皮製のものが適しています。

● ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。

● 運転する服装は以下のことを確認して選び、着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。

  • 保護性の高い服で明るく目立つ色のもの

- 動きやすく、体の露出が少ない長袖・長ズボン

- 以下のような服装は運転操作のじゃまになります。また、回転部分に巻き込まれたり高熱になる部分に接触したりして、思わぬ事故の原因にもなりますので、着用しないでください。
  - ズボンのすそや袖口の広い服
  - 衣服の飾り物や紐など、長すぎる装飾がある服
  - ロングスカートやロングマフラーなどの体に密着しない服

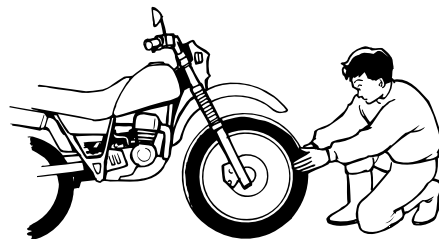
- 靴はかかとが低く、運転操作がしやすいものを着用してください。また、くるぶしまで覆われていて足にピッタリしたものを選んでください。
- 同乗者にも上記の注意を守らせてください。

JWA11601

⚠ 警 告

ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。運転者と同乗者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

日常点検、定期点検整備を必ず行う

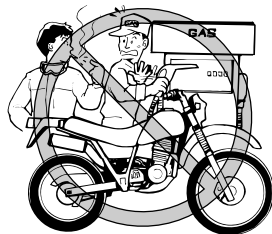
事故や故障を防ぐため、法令で定められた日常点検を行ってください。また、法令で定められた 1 年、2 年ごとに行う定期点検も必ず実施してください。

車の異状

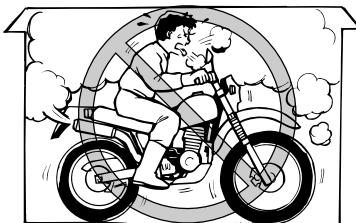
次のような場合は、車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと、走行に

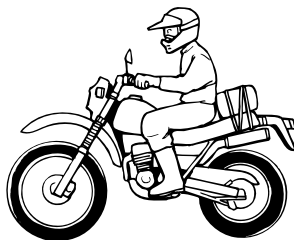
悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあり危険です。販売店で点検・整備を受けてください。

- 異音がしたり、異臭や異常な振動があるとき。
- 地面にオイルなどが漏れた跡があるとき。
- 燃料、冷却水のにじみまたは漏れた跡があるとき。

給油時は火気厳禁

ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。

風通しの悪い場所でエンジンを始動しない

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動は風通しのよい屋外で行ってください。

荷物はしっかり固定する

- 荷物を積むと、積まないときにくらべて操縦安定性が変わります。荷物はしっかりと固定し、積み過ぎないように注意してください。

- ハンドルの近くには、荷物など、物を置かないでください。ハンドルの近くに物を置くと、ハンドル操作を妨げる場合があります。
- ヘッドライトの前を荷物などでさえぎらないようにしてください。ライトの熱によりヘッドライトのレンズが変色、溶損したり、荷物にまでその不具合がおよぶこともあります。
- マフラー、エンジンなどの熱くなるところへ荷物などの物が触れないようにしてください。

両手はハンドル、両足はフットレスト

- 運転するときは、両手でハンドルを握り、両足をフットレストにのせます。
- 同乗者には、両手で体をしっかり固定させ、両足を必ずフットレストにのせさせます。

乗車定員は 2 名

ただし、免許取得後 1 年未満の運転者は、法令により 2 人乗りはできません。
また、高速道路（2 人乗りが許可されている高速道路）においては、20 才以上で、免許取得後 3 年を経過した運転者でなければ 2 人乗りはできません。

急激なハンドル操作や片手運転はしない

急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。

誤った方法でエンジンを停止しない

誤った取り扱いをすると、マフラーの中の触媒装置が異常に高温になり、損傷するおそれがあります。次のような操作はしないでください。

- 走行中にメインスイッチやエンジンストップスイッチでエンジンを停止する。
- 空ぶかし直後にエンジンを停止する。

自己流のエンジン調整、部品の取り外しはしない

エンジン調整はヤマハ販売店におまかせください。

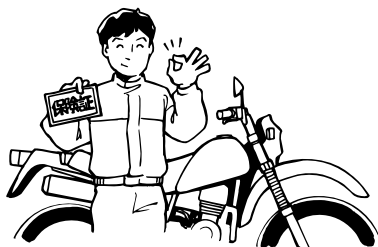
JCA15221

注 意

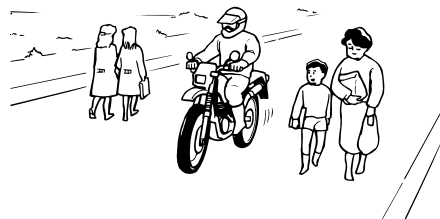
部品交換が必要な場合は正規の規格のものを使用するよう、販売店へ依頼してください。規格が異なった部品を使用すると、故障などの原因となります。

自賠責保険に必ず加入

自賠責保険（共済）に加入することは法令で定められています。万一の事態に備えて必ず加入してください。
また、保険の期限切れにも注意してください。

JAU27504

歩行者と他の車のために

他の人への思いやり

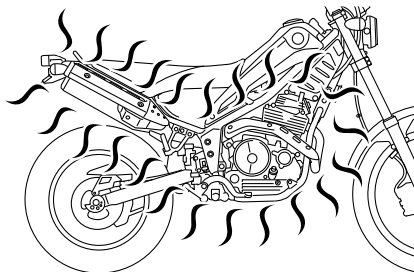
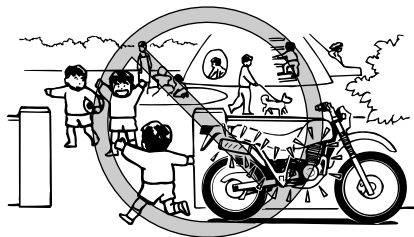
- 交通ルールを守り、まわりの歩行者や車の動きに注意し、相手の立場について思いやりの気持ちをもって通行しましょう。
- 周囲の状況に注意して、安全なスピードで走行してください。歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な距離を保つか徐行してください。

駐車

- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。
- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。

- 平坦な場所に駐車してください。やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- 車から離れる前に、スタンドが確実にセットされているかを確認してください。

JWA12241

警告

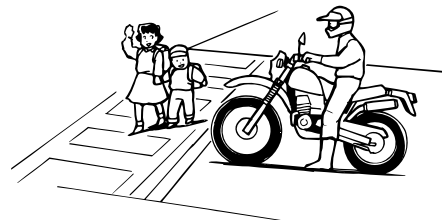
- **エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。また、物などが直接触れないようにしてください。**
- **駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。**
- **マフラーの中の触媒装置は高温になります。枯れ草や紙、オイル、木材など、燃えやすいものがある場所には駐車しないでください。**

昼間はヘッドライトを下向きに

この車両は自動昼間点灯仕様です。他の車や歩行者へ注意をうながし、自分の存在を知らせるためです。対向車がまぶしくないように、ライトは下向きを使ってください。

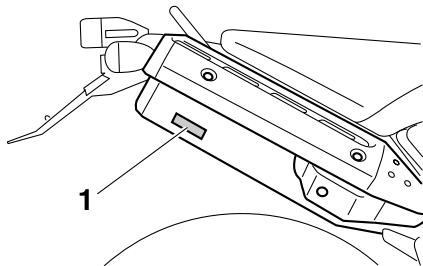
JAU27581

環境・住民の方との調和のために

住民の方への思いやり

自分の都合だけを考えて、沿道の方に不愉快な騒音などの迷惑をかけないでください。

特に深夜の住宅街や人通りの多い道路などで長時間のアイドリングや急発進などを行うと、迷惑になりますのでしないでください。

違法改造はしない

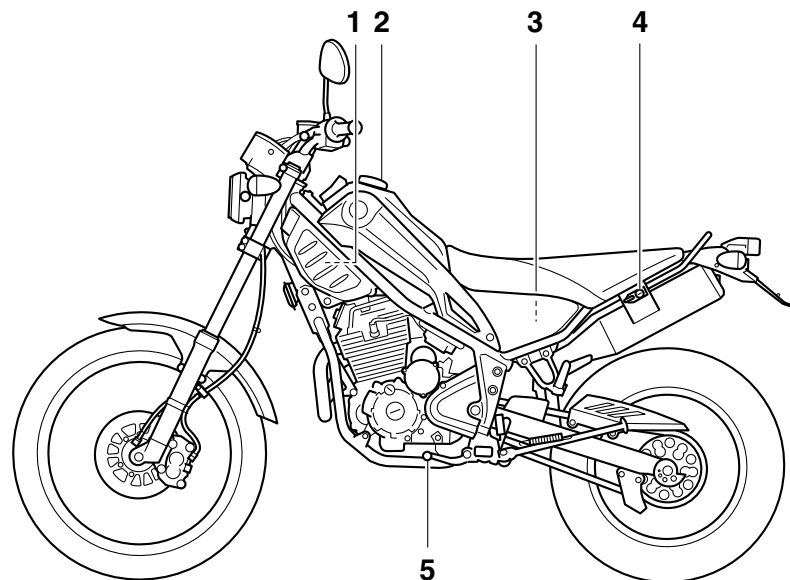
- 違法改造は法律により禁止されています。改造は操縦安定性を悪くしたり、排気音を大きくして車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。また、改造すると車の保証が受けられません。
- この車は、排出ガス規制適合車です。マフラーには排出ガスを浄化する触媒装置が内蔵されています。他のマフラーをこの車に取り付けると、排出ガス規制に適合しなくなる可能性があります。マフラーを交換する場合は、お買いあげのヤマハ販売店にご相談ください。なお、ヤマハ純正部品のマフラーには “YAMAHA” マークが刻印されています。

1. “YAMAHA” マーク

環境への配慮

廃車をするときや、バッテリー、廃油などの廃棄処理をするときは、環境保護のためお買いあげのヤマハ販売店にご相談ください。

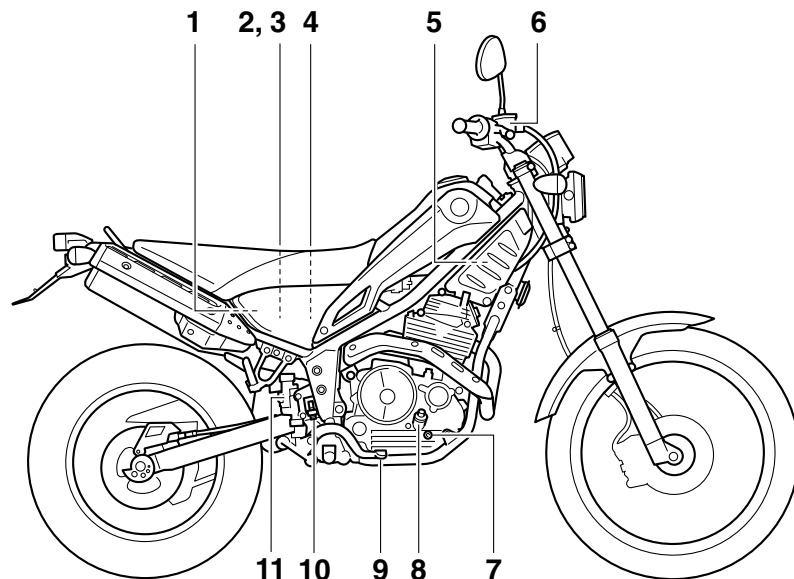
河原・森林・山野には小鳥や小動物がいます。
走行場所、走行方法には
十分気をつけて走りましょう。

JAU10411

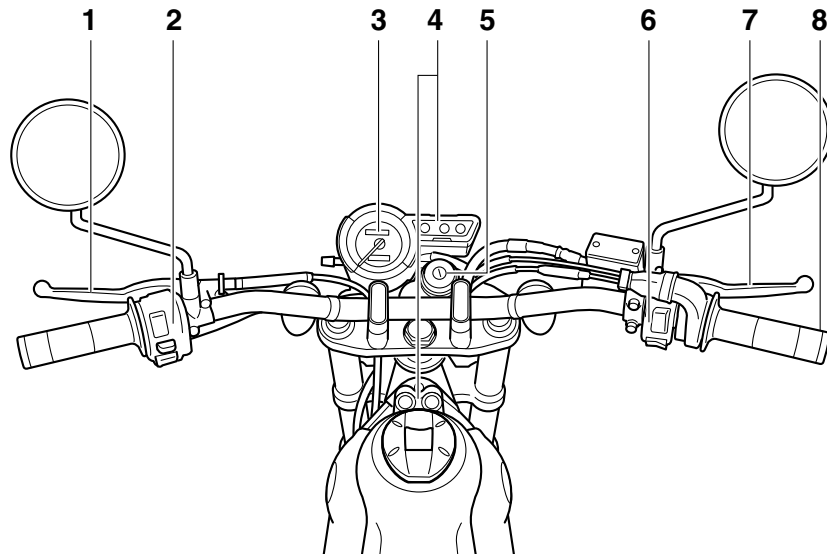
左側面

1. 書類入れ（P3-8）
2. フューエルタンクキャップ（P3-5）
3. エアクリーナーエレメント（P6-6）
4. ヘルメットホルダー（P3-7）
5. シフトペダル（P5-2）

各部の名称

JAU10421

右側面

1. 系統別ヒューズボックス 1（P6-17）
2. 系統別ヒューズボックス 2（P6-17）
3. バッテリー（P6-16）
4. メインヒューズ（P6-17）
5. サービスツール（P6-2）
6. フロントブレーキマスターシリンダー（P6-11/P6-12）
7. エンジンオイル点検窓（P6-4）
8. オイル注入口 (P6-4)
9. ブレーキペダル（P6-9）
10. リヤブレーキランプスイッチ (P 6-10)
11. リヤブレーキマスターシリンダー（P6-11/P6-12）

JAU10431

運転装置と計器類

1. クラッチレバー（P6-9）
2. ハンドルスイッチ（左）（P3-4）
3. スピードメーターユニット（P3-4）
4. 警告灯 / 表示灯（P3-3）
5. メインスイッチ / ハンドルロック（P3-1）
6. ハンドルスイッチ（右）（P3-4）
7. ブレーキレバー（P6-9）
8. スロットルグリップ

各部の取り扱いと操作

JAU31082

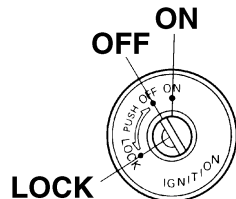
キーの取り扱い

- キーは車の操作や保管をするときなどに使用する大切なものです。キーを紛失しないように、充分に注意してください。
- キーは 2 本付属しています。1 本は予備として大切に保管してください。
- 1 本のキーを紛失または破損したときは、販売店またはキーショップなどで新しい予備キーを作っておいてください。
- キーを 2 本とも紛失または破損したときは、販売店にご相談ください。

JCA12502

注 意

金属製のキーホルダーは使用しないでください。また、リングなどに複数のキーをつないで使用しないでください。走行中にキーホルダーや他のキーがカバーなどの部品に当たり、傷付きの原因となる場合があります。キーホルダーは、布製または皮製のものをお勧めします。

JAU10462

メインスイッチ

メインスイッチはエンジンの始動と停止、ブレーキランプや方向指示灯などの電源の「入 / 切」、ハンドルロックを行います。

JWA11621

警 告

走行中にメインスイッチを OFF や LOCK の位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。メインスイッチは必ず停車中に操作してください。

JCA11972

注 意

エンジンをかけないでメインスイッチを ON のままにしたり、エンジン始動後アイドリング状態を長時間続けると、バッテリーあがりの原因となります。

要　点

盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。

JAU45231

ON

全ての電気回路に電源が供給され、テールランプとメーター灯が点灯し、エンジンを始動させることができます。キーを抜き取ることはできません。

要　点

- エンジンが始動すると、ヘッドライトが自動的に点灯します。エンジンが止まってもメインスイッチを OFF にするまで点灯し続けます。
- この車はフューエルポンプを装備しています。メインスイッチを ON にしたとき、またはエンジン始動中にフューエルポンプの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

JAU46011

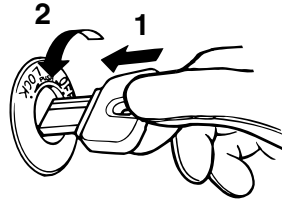
OFF

全ての電気回路がオフになり、エンジンが停止します。キーを抜くことができます。

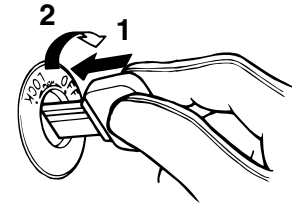
JAU10693

LOCK

ハンドルがロックされます。全ての電気回路がオフになります。キーを抜くことができます。

ハンドルロックのしかた

1. 押す
2. 回す

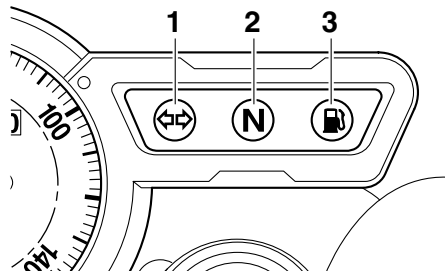
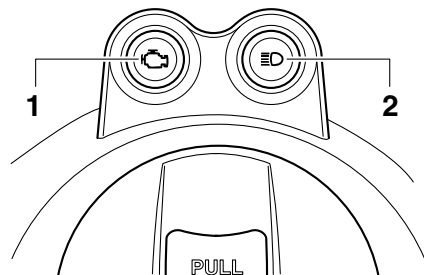
1. ハンドルを左または右にいっぱいに切ります。
2. OFF の位置でキーを押し込み、そのまま LOCK まで回します。
3. キーを抜きます。

ハンドルロックの解除のしかた

1. 押す
2. 回す

LOCK の位置でキーを押しこみ、そのまま OFF まで回します。

3

JAU11008

警告灯と表示灯

1. 方向指示器表示灯 “⇦ ⇨”
2. ニュートラルランプ “N”
3. 燃料残量警告灯 “⛽”

1. エンジン警告灯 “”
2. ヘッドライト上向き表示灯 “≣D”

JAU11021

方向指示器表示灯 “⇦ ⇨”

方向指示器に合わせて点滅します。

JAU11061

ニュートラルランプ “N”

ギヤがニュートラルのとき点灯します。

JAU11081

ヘッドライト上向き表示灯 “≣D”

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

JAU44622

燃料残量警告灯 “⛽”

燃料残量が約 2.0 L 以下になると点灯します。早めに給油してください。

要　点

キーを ON にしたとき、警告灯が約 2 秒間点灯し、その後消灯します。点灯しないときや消灯しないときは、ヤマハ販売店で点検を受けてください。

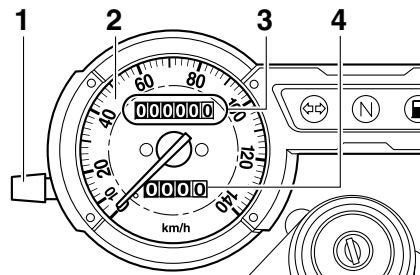
JAU43024

エンジン警告灯 “”

エンジンの電気回路に異常が発生したとき、警告灯が点灯するか、点滅します。ヤマハ販売店で点検を受けてください。

要　点

- キーを ON にしたとき、警告灯が約 2 秒間点灯し、その後消灯します。点灯しないときや消灯しないときは、ヤマハ販売店で点検を受けてください。
- スタータースイッチを押している間、警告灯が点灯することがありますが、これは異常ではありません。

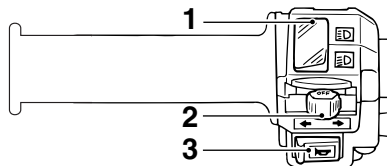
JAU11631

スピードメーターユニット

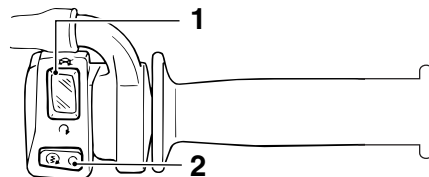
1. リセットノブ
2. スピードメーター
3. オドメーター
4. トリップメーター

スピードメーターユニットにはスピードメーター、オドメーター、トリップメーターが装備されています。スピードメーターは車の速度を示します。オドメーターは走行した総距離を示します。トリップメーターは、前回リセットノブを回してリセット（ゼロ）にした時点からの走行距離を示します。

JAU1234F

ハンドルスイッチ

<左>

1. ヘッドライト上下切り替えスイッチ “≣D/≣D”
2. 方向指示器スイッチ “⇦/⇨”
3. ホーンスイッチ “ ”

<右>

1. エンジンストップスイッチ “◯/⊠”
2. スタータースイッチ “Ⓢ”

JAU12401

ヘッドライト上下切り替えスイッチ “≣D/≣D”

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。

≣D（上向き）：遠くを照らします。

≣D（下向き）：近くを照らします。

要　点

先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向きにしてください。

JAU12461

方向指示器スイッチ “⇦/⇨”

進路変更の合図に使用します。

操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。

消灯するときは、スイッチを押します。

⇨：右側の方向指示灯が点滅します。

⇦：左側の方向指示灯が点滅します。

JWA11641

⚠ 警　告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は、必ず消灯してください。点滅したままにしておくと、他のかたの迷惑になります。

JCA11983

注　意

電球を交換するときは、正規のワット数のも

のを使用してください。正規のワット数以外のものを使用すると、正常に作動しません。

JAU12501

ホーンスイッチ “ ”

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

要　点

必要なときにのみ使用してください。

JAU28182

エンジンストップスイッチ “ / ”

非常時に、エンジンをすぐに停止させるスイッチです。通常は “ ” にしておきます。

JWA12101

⚠ 警　告

非常時にエンジンストップスイッチでエンジンを停止させたときは、マフラーやエンジンなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。

JCA12351

注　意

- **非常時にエンジンストップスイッチでエンジンを停止させたときは、必ずメインスイッチを OFF にしてください。ON のままですと、バッテリーあがりの原因となります。**
- **走行中に、エンジンストップスイッチを “ ” → “ ” → “ ” にしないでください。エンジンの回転が不円滑となり、エンジン不調の原因となります。また、排出ガス浄化装置の故障の原因となります。**

要　点

“ ” にすると、エンジンは始動できません。

JAU12713

スタータースイッチ “ ”

このスイッチを押すと、スターターモーターが回転し、エンジンが始動します。

JCA11882

注　意

- **スターターモーターを連続して回転させないでください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因となります。**
- **エンジンを始動させる前に、5-1 ページの始動手順を参照してください。**

JAU34944

フューエルタンクキャップ

JWA12172

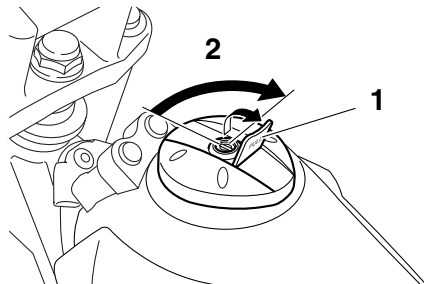
⚠ 警　告

給油時およびガソリンを取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

- **給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。**
- **フューエルタンクキャップを開ける前に、車体などの金属部分に触れて静電気の除去を行ってください。身体に静電気を帯びた状態で給油すると、放電による火花で引火する場合があり、ヤケドするおそれがあります。**
- **給油操作は、必ず一人で行ってください。複数で行うと静電気が除去できない場合があります。**
- **給油は、必ず屋外で行ってください。**
- **セルフサービスのガソリンスタンドで給油するときは、ガソリンの吹きこぼれがないよう、慎重に給油してください。**
- **給油限度（フィラーチューブ下端まで）を超えてガソリンを入れないでください。走行中にガソリンがにじみ出ることがあり危険です。**
- **給油後、フューエルタンクキャップを確実**

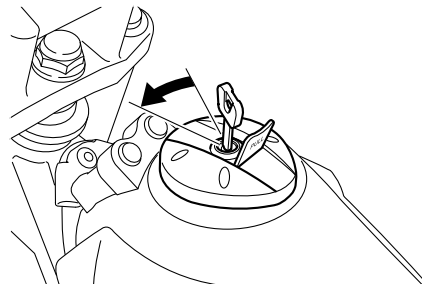
に閉めてください。

1. 給油限度
2. フィラーチューブ

フューエルタンクキャップの取り外しかた

1. ロックカバー
2. 解除

ロックカバーを開け、キーをロックに差し込み、時計方向に 1/4 回してロックを解除し、フューエルタンクキャップを取り外します。

フューエルタンクキャップの取り付けかた

1. キーをロックに差し込んだ状態で、フューエルタンクキャップを給油口に押し込みます。
2. キーを反時計方向に回して抜き取り、ロックカバーを閉めます。

要　点

キーを抜き取ると、フューエルタンクキャップを取り付けることはできません。また、フューエルタンクキャップを正しく取り付けないと、キーを抜き取ることはできません。

3

JAU31461

燃料

JAU28312

指定燃料

指定燃料： 無鉛レギュラーガソリン タンク容量： 約 7.2 L

JCA12512

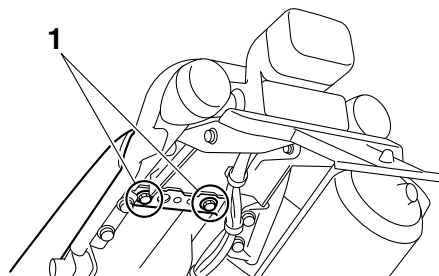
注　意

- **必ず指定燃料を使用してください。高濃度アルコール含有燃料や軽油、粗悪ガソリンなど、指定以外の燃料を使用するとエンジンの始動性が悪くなったり、出力低下などのエンジン不調の原因となる場合があります。また、エンジンや燃料系の部品を損傷するおそれがあります。**
- **こぼれたガソリンは、布切れなどできれいにふき取ってください。**
- **タンクにゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。**

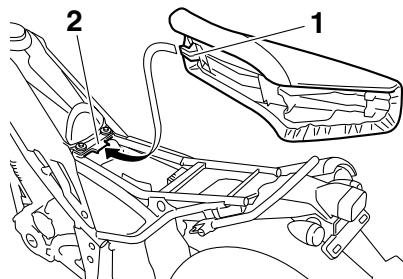
JAU13972

シート

シートの取り外しかた

ボルトを外し、シートを取り外します。

1. ボルト

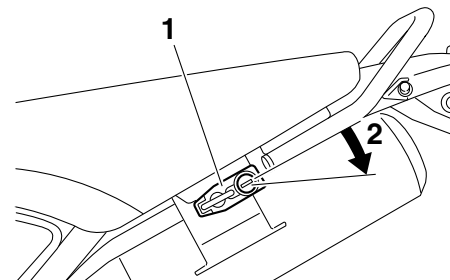
シートの取り付けかた

1. シート前部の突起を図のようにシートホルダーに差し込みます。
2. シートを元の位置に取り付け、ボルトを締め付けます。

1. 突起
2. ホルダー

要　点

乗車する前に、シートが正しく取り付けられていることを必ず確認します。

JAU14283

ヘルメットホルダー

1. ヘルメットホルダー
2. 解除

キーでロックを解除し、ヘルメットのあごひもの金具部分を掛けてロックします。

JWA11651

⚠ 警 告

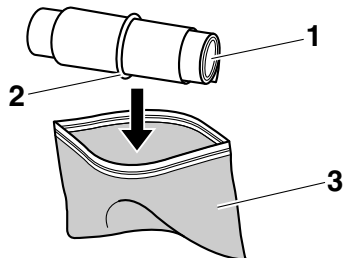
ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。ヘルメットが運転を妨げ、思わぬ事故の原因になったり、車の部品に損傷を与えたり、またヘルメットにも損傷を与え保護機能を低下させます。

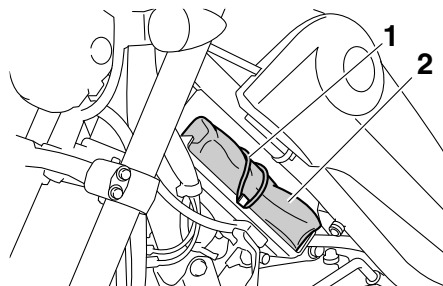
要　点

ヘルメットホルダーは、常にロックしておいてください。

JAU34951

書類入れ

1. カバー A を取り外します。(カバーの取り外しは 6-2 ページ参照)
2. メンテナンスノート、自賠責保険証を丸めてバンドでとめ、ポーチに入れます。

1. メンテナンスノート、自賠責保険証
2. バンド
3. ポーチ

3. ポーチを図のようにバンドで固定し、カバー A を取り付けます。

1. バンド
2. ポーチ

JAU46022

リヤクッション

JWA10222

警 告

リヤクッションユニットには高圧窒素ガスが封入されています。リヤクッションユニットを取り扱う場合は、必ず下記のことを厳守してください。

- シリンダー本体を加工または分解しないでください。
- リヤクッションユニットを火気の中に投げ込まないでください。高温にさらすとガスが膨張し、爆発するおそれがあります。
- シリンダーを変形させたりダメージを与えないでください。これを行うと、減衰力が低下するおそれがあります。
- 損傷または変形したリヤクッションユニットを、ご自分で処分しないでください。リヤクッションユニットの処分が必要なときは、ヤマハ販売店にご相談ください。
- 点検整備については、必ずヤマハ販売店にて実施してください。

JAU15306

サイドスタンド

サイドスタンドはフレームの左側にあります。車を直立にした状態で、足でサイドスタンドを上げ下げします。

要　点

この車にはサイドスタンドスイッチが装備されています。（サイドスタンドスイッチについては次の項目を参照してください。）

JWA10242

警　告

サイドスタンドを下ろした状態で、またはサイドスタンドが正しく上がらない（上がった状態にならない）場合、車を運転しないでください。サイドスタンドが地面に接し、操縦安定性を損なうことがあります。ヤマハのイグニッションサーキットカットオフシステムは、発進前にサイドスタンドの上げ忘れを防止するよう設計されています。従って、定期的にこのシステムを点検してください。正しく機能しない場合にはヤマハ販売店に修理を依頼してください。

JAU44893

イグニッションサーキットカットオフシステム

イグニッションサーキットカットオフシステム（サイドスタンドスイッチ、クラッチスイッチおよびニュートラルスイッチを含む）には次の機能があります。

- ギヤがニュートラル以外で、サイドスタンドが上げてあるが、クラッチレバーを握っていないとき、エンジンは始動できません。
- ギヤがニュートラル以外で、クラッチレバーを握っているが、サイドスタンドが下がっているとき、エンジンは始動できません。
- ギヤがニュートラル以外で、サイドスタンドを下げるとエンジンが停止します。

イグニッションサーキットカットオフシステムの作動を、以下の手順に従って定期的に点検してください。

JWA11541

警　告

点検の結果異常があった場合は、走行前にヤマハ販売店でシステムの点検を受けてください。

エンジンが停止した状態で：
1.サイドスタンドを下ろします。
2.エンジンストップスイッチを“◯”にします。
3.メインスイッチをONにします。
4.ギヤをニュートラルに入れます。
5.スタータースイッチを押します。
エンジンは始動しましたか？
はい
いいえ
ニュートラルスイッチの故障が考えられます。
すぐにヤマハ販売店にて点検を受けてください。
エンジンが始動した状態のまま：
6.サイドスタンドを上げます。
7.クラッチレバーを握ります。
8.ギヤを入れます。
9.サイドスタンドを下ろします。
エンジンは停止しましたか？
はい
いいえ
サイドスタンドスイッチの故障が考えられます。
すぐにヤマハ販売店にて点検を受けてください。
エンジンが停止した後：
10.サイドスタンドを上げます。
11.クラッチレバーを握ります。
12.スタータースイッチを押します。
エンジンは始動しましたか？
はい
いいえ
クラッチスイッチの故障が考えられます。
すぐにヤマハ販売店にて点検を受けてください。
イグニッションサーキットカットオフシステムは正常です。走行可能です。

JAU15598

日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、法または法に準じ、日常の車の使用状況に応じて、使用する人の判断で適時行う点検です。

JWA12032

⚠ 警 告

- **日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

要　点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、サービスツールの有無や内容が異なります。）

JAU30063

日常点検箇所／点検内容

詳しい点検の方法は、6-1 ページ以降の点検整備の方法および別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

点検箇所	点検内容
ブレーキ	● ブレーキペダルの踏みしろおよびレバーの握りしろが適切で、ブレーキのききが充分であること。 ● ブレーキ液の量が適当であること。
タイヤ	● タイヤの空気圧が適当であること。 ● 亀裂、損傷がないこと。 ● 異常な摩耗がないこと。 ● 溝の深さが充分あること。（※）
エンジン	● エンジンオイルの量が適当であること。（※） ● かかり具合が良好で、かつ、異音がないこと。（※） ● 低速、加速の状態が適当であること。（※）
灯火装置および方向指示灯	● 点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行において異常が認められた箇所	● 当該箇所に異常がないこと。

（注）

※ 印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（長距離走行時や洗車、給油後など）に実施をしてください。

JWA11733

⚠ 警 告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。点検整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
- **エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。ヤケドに注意してください。**
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。**
- **走行して点検するときは、交通状況に注意してください。**
- **異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

JAU45311

要　点

この車には、メインスイッチが ON のときに車体が転倒した状態になると、エンジンを停止させる機構が装備されています。この機構が働くと、車体を起こしてもエンジン停止の制御が継続されるため、スターターモーターは回転しても、エンジンを始動することができません。そのまま始動操作を続けると、バッテリー上がりの原因になることがありますので、このような状態になった場合はメインスイッチを一旦 OFF にして、再度 ON にするリセット操作をしてください。

JAU3372A

エンジン始動

JWA11562

⚠ 警 告

- **エンジンを始動するときには、3-9 ページに記述された手順で、イグニッションサーキットカットオフシステムの機能を点検してください。**
- **サイドスタンドを下ろした状態で走行しないでください。**

1. メインスイッチを ON にし、エンジンストップスイッチが “◯” にセットされていることを確認します。
2. ギヤをニュートラルにします。

要　点

ギヤをニュートラルにしたとき、ニュートラルランプが点灯しない場合、ヤマハ販売店で電気回路の点検を受けてください。

3. スロットルを完全に閉めます。
4. スタータースイッチを押して、エンジンを始動します。

要　点

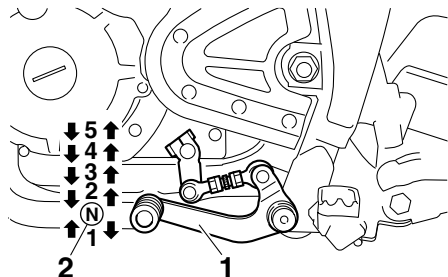
スタータースイッチで5秒以内にエンジンが始動しないときは、バッテリー電圧を回復させるため、10 秒位休ませてからスタータースイッチを押してください。

JCA15992

注 意

- **エンジンを長持ちさせるため、エンジンが冷えている間の急加速や、無用な空ぶかしは避けてください。**
- **長時間のアイドリングはガソリンのムダ使いになるだけでなく、環境への悪影響にもなりますので、やめてください。**
- **通常のアイドリング回転数を必要以上に高くした状態（アイドルアジャスターの誤った調整や、スロットルグリップを開けて固定した状態など）で、長時間放置しないでください。温度上昇により、エンジンまたは車両が損傷する場合があります。**

JAU27514

ギヤチェンジのしかた

1. シフトペダル
2. ニュートラル

この車はリターン式の 5 段変速です。
ギヤチェンジは、スロットルグリップを一度戻してからクラッチレバーを握り、シフトペダルで操作します。

JCA12032

注 意

- **シフトペダルは、踏みごたえがあるまで確実に操作してください。**
- **クラッチレバーを確実に握らずにギヤチェンジしたり、無理なギヤチェンジは、チェンジ機構の故障の原因になります。**

JAU33175

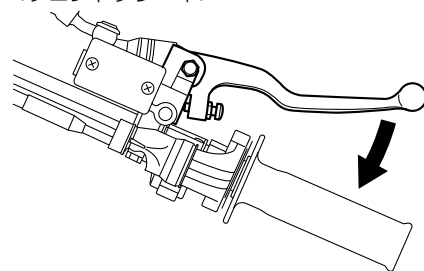
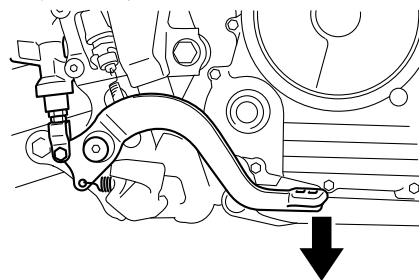
ブレーキ

1. スロットルを完全に閉じます。
2. フロントブレーキとリヤブレーキを同時に、徐々にかけます。

<フロントブレーキ>

<リヤブレーキ>

JWA11573

警 告

- **急なブレーキ操作は避けてください（特にどちらか一方に傾いているとき）。横すべりや転倒の原因となります。**
- **踏切、路面電車のレール、道路建設現場の鉄製のプレート、マンホールのフタなどは、濡れているときは極端に滑りやすくなります。そのようなところでは減速し、注意して走行してください。**
- **濡れた路面では、ブレーキが効きにくいことを留意してください。**
- **下り坂でのブレーキ操作は非常に困難です。下り坂に差しかかる前までに充分減速してください。**
- **連続したブレーキ操作は避けてください。ブレーキ部の温度が上昇し、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。**

JAU31471

ならし運転

JAU27622

ならし運転のしかた

初回 1 か月目（または 1000 km 走行時）の点検までは、ならし運転をしてください。また、不要な空ぶかしや急加速、急減速はしないでください。

ならし運転を行うと車の寿命を延ばします。

JAU17214

駐車

駐車するときは、エンジンを止め、キーをメインスイッチから抜きます。

JWA11582

警 告

- **エンジンやマフラーは高温になります。通行する人などが触れない場所に駐車してください。**
- **草や可燃物などの火災の危険がある場所には、決して駐車しないでください。**
- **傾斜地や地面が柔らかいところには駐車しないでください。車が転倒することがあります。**

点検整備

JAU29839

点検整備の実施

日常点検

4-1 ページ「日常点検箇所／点検内容」の表にしたがって、適時実施してください。点検の方法については、本書の以降のページや、別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降のページを参照してください。

定期点検整備

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、1年点検と2年点検の2種類があります。定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

6

JWA12055

警 告

- **点検整備を怠ると重大な事故、ケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。**
- **点検するときは安全に充分注意し、以下の内容を守ってください。**
  - **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
  - **エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。**
  - **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動は風通しのよい屋外で行ってください。**
  - **走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。**
  - **異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

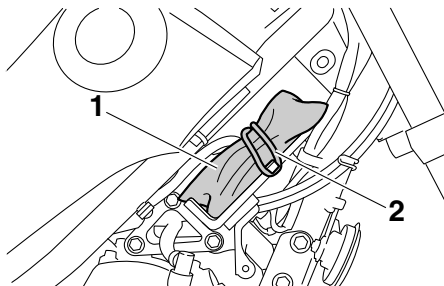
JWA15461

警 告

走行直後はブレーキ関係の部品に直接触れないでください。ブレーキディスク、キャリパー、ドラム、ライニングなどは使用すると高温になり、ヤケドするおそれがあります。点検整備はブレーキ関係の部品が充分に冷えてから行ってください。

要　点

- 点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、サービスツールの有無や内容が異なります。）
- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。

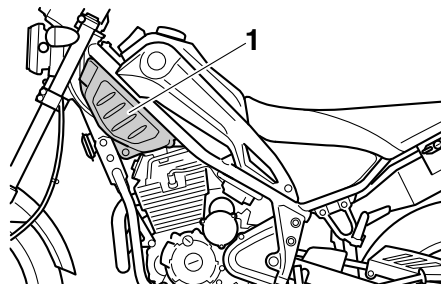
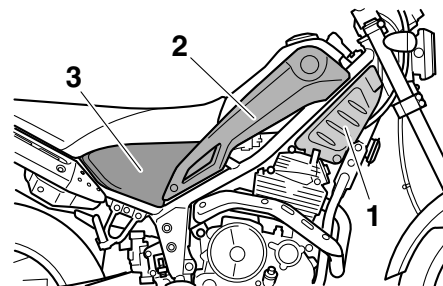
JAU17342

サービスツール

1. サービスツール
2. バンド

サービスツールはカバーBの後ろ側にあります。（カバーの取り外しは次の項目を参照してください。）

JAU18752

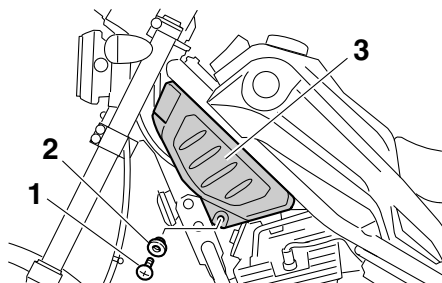
カバーの取り外し、取り付け

図のカバーは、点検整備などで取り外す必要があります。カバーを取り外すときや、取り付けるときは、この項目を参照してください。

1. カバーA

1. カバーB
2. カバーC
3. カバーD

JAU34963

カバーA／B

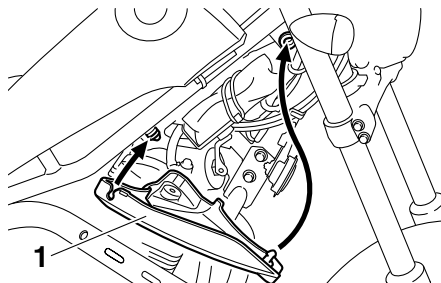
カバーの取り外しかた

スクリューとカラーを外し、カバーを取り外します。

1. スクリュー
2. カラー
3. カバー A

1. スクリュー
2. カラー
3. カバー B

カバーの取り付けかた

カバーとカラーを取り付け、スクリューを締め付けます。

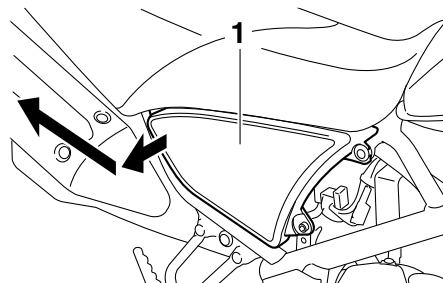
1. カバー A

1. カバー B

カバー C ／ D

カバーの取り外しかた

1. ボルトとワッシャーを外し、前方にスライドさせてカバー C を取り外します。

1. ボルト
2. ワッシャー
3. カバー C

2. 図のようにカバー D を取り外します。

1. カバー D

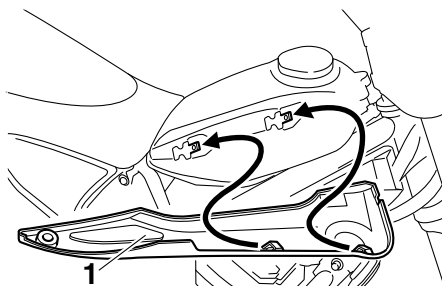
カバーの取り付けかた

1. カバー D を取り付けます。

1. カバーD

2. カバーCとワッシャーを取り付け、ボルトを締め付けます。

1. カバーC

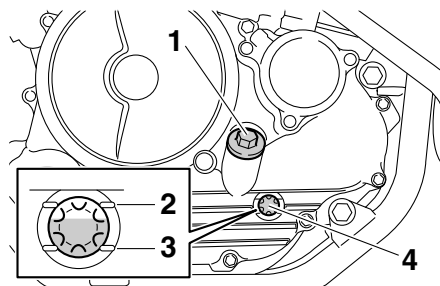
JAU30374

エンジンオイル

エンジンオイル量の点検

1. 平坦な場所でエンジンを2～3分間アイドリング運転します。

要　点

走行直後でエンジンが充分に暖まっていれば、アイドリング運転は不要です。

2. エンジンを止めて車を垂直にし、2～3分後、オイル点検窓でエンジンオイル量を点検します。

1. オイル注入口
2. フルレベル
3. ロアレベル
4. エンジンオイル点検窓

3. オイル量がロアレベル以下のときは、オイル注入口から補給します。

＜推奨エンジンオイル＞

	SAE	JASO
ヤマハ純正オイル ヤマルーブプレミアム	10W–40	MA
ヤマハ純正オイル ヤマルーブスポーツ	10W–40	MA
ヤマハ純正オイル ヤマルーブスタンダードプラス	10W–40	MA

JAU30544

エンジンオイルの交換時期

初 回：
1か月点検時または1000 km時
2回目以降：
3000 km走行ごと、
または1年ごと
定期交換時オイル量：
オイルフィルターエレメント
無交換時：1.20 L
オイルフィルターエレメント
交換時：1.30 L

定期交換時期の前でも、エンジンオイルの汚れが著しいときやエンジンオイルが薄茶色に濁っているときは、早めにエンジンオイルを交換してください。汚れや濁りの程度については、ヤマハ販売店にご相談ください。

6

オイルフィルターエレメントの交換時期

初 回：
1 か月点検時または 1000 km 時
2 回目以降：
9000 km 走行ごと

JWA11861

警 告

- **走行後など、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。**
- **油脂類の廃液は、法令（公害防止条例）で適切な処理を行うことが義務づけられています。ヤマハ販売店にご相談ください。**

JCA12102

注 意

- **化学添加剤は一切加えないでください。またヤマハ純正オイルヤマルーブ FX をこの車に使用しないでください。エンジンオイルはクラッチも潤滑しています。添加剤によりクラッチがすべる原因になります。**
- **補給時に、オイル注入口からゴミなどが入らないように注意してください。**
- **オイルをこぼしたときは、布などでよくふきとってください。**

JAU30691

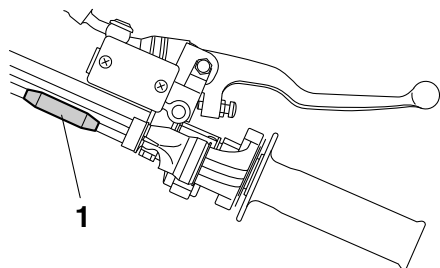
エンジンのかかり具合、異音の点検

エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。
エンジンから異音がしないかを点検します。

JAU44194

低速、加速の状態の点検

低速、加速の状態の点検前に以下の点検を行ってください。

- エンジンを停止した状態でスロットルグリップをゆっくり回し、引っ掛かりがなくスムーズに作動することと、手を離したときにスロットルグリップがスムーズに戻ることを点検してください。また、ハンドルを左右にいっぱいに切った状態でも同じ点検を行ってください。
- スロットルケーブルに劣化や損傷などがないか点検してください。また、取り付けの状態も点検してください。
- スロットルケーブルには、ゴムカバーが取り付けられているものがあります。ゴムカバーが確実に取り付けられていることを確認し、洗車時にはゴムカバーに直接水をかけないようにしてください。ゴムカバーの汚れがひどい場合には、水で濡らして固くしぼった布などでふき取ってください。

1. ゴムカバー

JWA15531

⚠ 警 告

ケーブル、ワイヤー類に異常があるときは、早めにヤマハ販売店にご相談ください。異常がある状態で使用を続けると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。

アイドリングがスムーズに続くかを点検します。
スロットルグリップを徐々に回してエンジンを加速したとき、スロットルグリップもエンジンもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき、エンジンストール（エンスト）やノッキングなどが起きたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU34972

エアクリーナーエレメントの交換

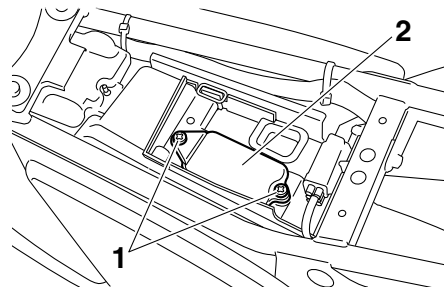
エアクリーナーエレメントは定期的に点検し、汚れや破れなどがあるときは交換してください。ただし、ほこりの多い場所や湿気の多い場所を走行する機会が多い場合は、より短い期間で交換してください。

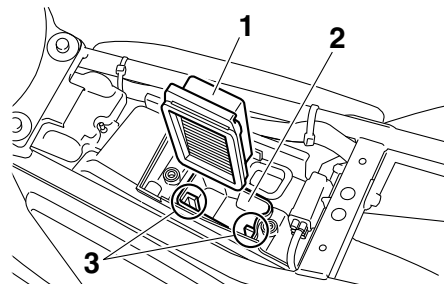
エアクリーナーエレメントの交換

JCA11951

注 意

- **エアクリーナーエレメントがエアクリーナーケースに正しく装着されていることを確認してください。**
- **エアクリーナーエレメントを取り付けないままエンジンを始動しないでください。エンジンの故障の原因となります。**

1. シートを取り外します。（3-7 ページ参照）
2. スクリューを外し、エアクリーナーケースカバーを取り外します。

1. スクリュー
2. エアクリーナーケースカバー

3. エアクリーナーエレメントを取り外します。

1. エアクリーナーエレメント
2. エアクリーナーケース
3. 溝

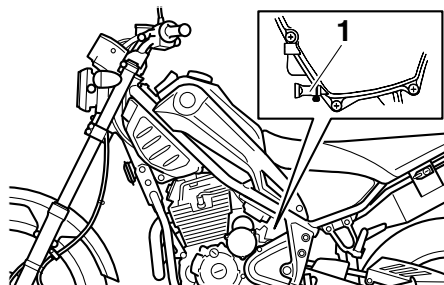
4. 新しいエアクリーナーエレメントをエアクリーナーケースに取り付けます。

要　点

エアクリーナーエレメントは、エアクリーナーケースの溝に合わせて取り付けます。

5. エアクリーナーケースカバーを取り付け、スクリューを締め付けます。
6. シートを取り付けます。

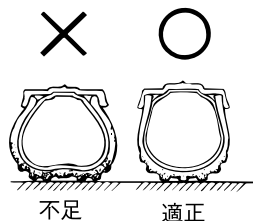
ブローバイガス還元装置のブリーザードレンホースの清掃

1. ブリーザードレンホースを点検し、汚れや水がたまっていないか確認します。

1. ブローバイガス還元装置のブリーザードレンホース

2. 汚れや水があった場合は、ブリーザードレンホースを取り外して清掃し、元に戻します。

JAU31006

タイヤ

空気圧

タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないかを点検します。たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。
空気圧はタイヤの冷えているときに測定してください。

タイヤ空気圧（冷間時）：
1 名乗車：
前輪：
125 kPa (1.25 kgf/cm^2)
後輪：
150 kPa (1.50 kgf/cm^2)
2 名乗車：
前輪：
150 kPa (1.50 kgf/cm^2)
後輪：
175 kPa (1.75 kgf/cm^2)
高速走行（1 名乗車）：
前輪：
125 kPa (1.25 kgf/cm^2)
後輪：
150 kPa (1.50 kgf/cm^2)
高速走行（2 名乗車）：
前輪：
150 kPa (1.50 kgf/cm^2)
後輪：
175 kPa (1.75 kgf/cm^2)

要　点

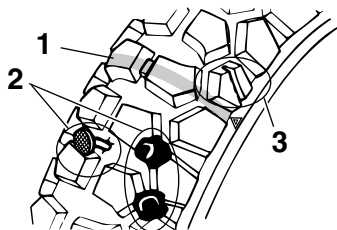
- タイヤの空気圧は徐々に低下します。見た目には不足していることが判りにくいタイヤもあり、少なくとも 1 か月に一度はタイヤゲージを使用して空気圧の点検を

行ってください。

- 空気圧の確認は、タイヤが冷えているときに行ってください。走行後はタイヤが暖まっており、空気圧が高くなります。

JAU28582

タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないか、また、釘、石、その他の異物が刺さっていないかを点検します。

1. ウェアインジケーター（摩耗限度表示）
2. 異物（釘、石など）
3. 亀裂、損傷

要　点

道路の縁石などにタイヤ側面を接触させたり、大きなくぼみや突起物を乗り越したときは、必ず点検してください。

JAU28701

タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

JAU28825

タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。

要　点

- ウェアインジケーターはタイヤの溝が0.8mmになるとあらわれます。
- 安定したコーナリングや操縦性などを確保して安全な走行を行うため、タイヤの溝には充分注意してください。一般的にトレールタイプのタイヤは前輪、後輪とも溝の深さが4mm以下になりましたら交換をおすすめします。

JWA11914

⚠ 警 告

- **タイヤを交換するときは、必ず指定タイヤを使用し、前後とも同じ銘柄のものを使用してください。指定タイヤ以外のタイヤや前後で異なった銘柄のタイヤを使用すると、操縦安定性に影響をおよぼすおそれがありますので使用しないでください。**
- **過度にすり減ったタイヤの使用や不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となることがあります。取扱説明書に記載された空気圧を守り、過度にすり減ったタイヤは交換してください。**
- **タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。**

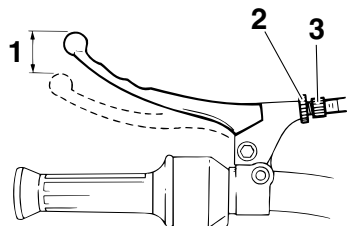
タイヤサイズ：
前輪：
80/100-19M/C 49P
後輪：
120/90-16M/C 63P
指定タイヤ：
前輪：
BRIDGESTONE/TW201
後輪：
BRIDGESTONE/TW202

JAU28941

クラッチ

クラッチレバーの遊び

クラッチレバーを手で抵抗を感じるまで引き、レバー先端部の遊びの量が規定の範囲にあるかをスケールなどで点検します。

クラッチレバーの遊び
10.0–15.0 mm

1. 遊び
2. ロックナット
3. アジャスター

点検の結果調整が必要な場合は、ロックナットをゆるめてアジャスターで調整します。

JWA11841

警 告

調整後、エンジンをかけてギヤチェンジがスムーズにできるか、エンストなどしないかを確認してください。なお、車の飛び出しに注意してください。

JCA12091

注 意

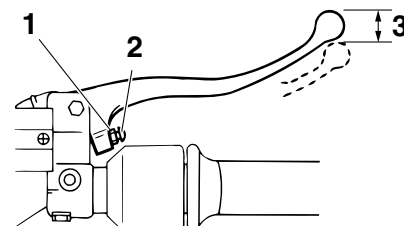
- **調整後は、ロックナットを確実に締め付けます。**
- **１か月に一度はクラッチケーブルの取り付け部に注油をしてください。ケーブルの寿命が伸びます。**

JAU31112

ブレーキレバーの遊び／ブレーキペダルの遊び、およびブレーキのきき具合の点検

ブレーキの遊びの点検

＜フロントブレーキ＞

ブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じるまでのレバー先端部の遊びが 2.0–5.0 mm の範囲にあるかを点検します。

1. ロックナット
2. アジャスター
3. 遊び

点検の結果調整が必要な場合は、ロックナットをゆるめてアジャスターで調整します。

JCA12071

注 意

調整後は、ロックナットを確実に締め付けます。

JWA11851

警 告

ブレーキ調整後は、必ずブレーキランプの点灯とタイミング、ブレーキの引きずりがないかを確認してください。

＜リヤブレーキ＞

ブレーキペダルは無調整式です。ブレーキペダルを手で押し、手ごたえがあるかどうかを確認します。

JWA11741

警 告

ブレーキレバーの引き具合、ブレーキペダルの踏み具合がやわらかく感じられるときは、エアが混入しているおそれがあります。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、フロントブレーキ、リヤブレーキを別々に作動させたときのきき具合を点検します。

ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JWA11761

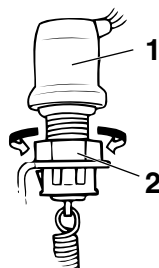
警 告

走行して点検するときは、交通状況に注意し、低速で走行しながら行ってください。

JAU22274

ブレーキランプスイッチ

ブレーキがきき始める直前にブレーキランプが点灯するか点検します。

リヤブレーキランプスイッチの調整は、スイッチを指で押さえ、アジャスターを回して行います。

1. リヤブレーキランプスイッチ
2. アジャスター

JCA12081

注 意

リヤブレーキランプスイッチを調整するときは、スイッチ本体を回さないでください。スイッチ本体を回すと、リード線を傷付けます。

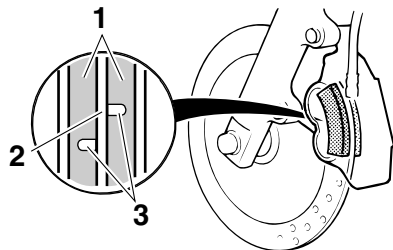
フロントブレーキをかけたときもブレーキランプが点灯するか点検します。

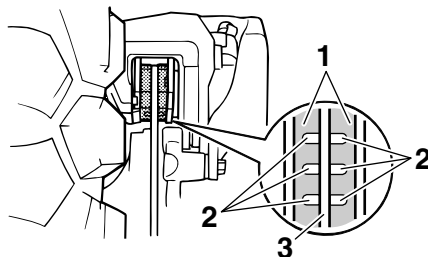
異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU29582

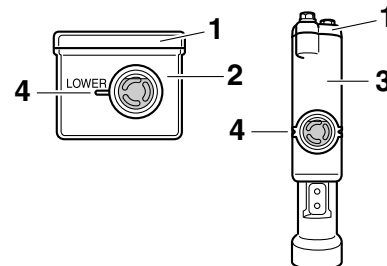
ブレーキパッドの点検

ブレーキパッドのインジケーター溝の深さで摩耗の状態を点検します。
インジケーター溝がなくなったら、ヤマハ販売店でブレーキパッドを交換してください。

<フロントブレーキ>

1. ブレーキパッド
2. ブレーキディスク
3. インジケーター溝

<リヤブレーキ>

1. ブレーキパッド
2. インジケーター溝
3. ブレーキディスク

JAU29981

ブレーキ液量の点検

1. ブレーキリザーバータンクキャップ
2. フロントブレーキマスターシリンダー
3. リヤブレーキマスターシリンダー
4. ロアレベル

ブレーキリザーバータンクキャップ上面を水平にして、リザーバータンク内の液量がロアレベル以上にあるかを点検します。

JWA12151

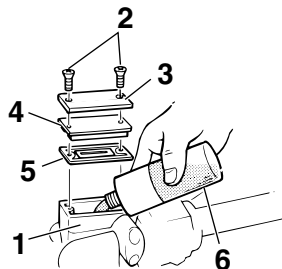
⚠ 警 告

ブレーキ液の減りが著しいときは、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。販売店で点検・整備を受けてください。

JAU34984

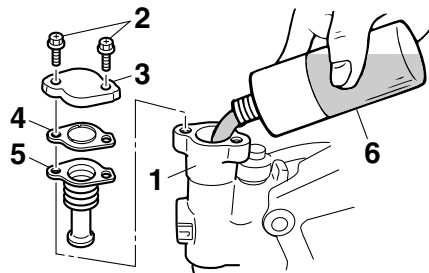
ブレーキ液の補給

<フロントブレーキ>

1. マスターシリンダーまわりをきれいにし、異物がタンク内に入らないようにします。
2. スクリューを外し、キャップ、ダイヤフラムブッシュ、ダイヤフラムを取り外します。
3. ロアレベル以上になるようにブレーキ液を補給します。

1. マスターシリンダー
2. スクリュー
3. キャップ
4. ダイヤフラムブッシュ
5. ダイヤフラム
6. ブレーキ液

4. ダイヤフラムのかみ込みに注意してキャップを取り付け、スクリューを締め付けます。

<リヤブレーキ>

1. マスターシリンダーまわりをきれいにし、異物がタンク内に入らないようにします。
2. ボルトを外し、キャップ、ダイヤフラムブッシュ、ダイヤフラムを取り外します。
3. ロアレベル以上になるようにブレーキ液を補給します。

1. マスターシリンダー
2. ボルト
3. キャップ
4. ダイヤフラムブッシュ
5. ダイヤフラム
6. ブレーキ液

4. ダイヤフラムのかみ込みに注意してキャップを取り付け、ボルトを締め付けます。

指定ブレーキ液：
ヤマルーブ ブレーキフルード
BF-4 (DOT-4)

JWA12072

警 告

- **ブレーキ液は、銘柄や性能が異なるものを混入しないでください。銘柄や性能が異なるブレーキ液を混入すると、ブレーキのきき具合やブレーキ系統の部品に悪影響を与えるおそれがあります。**
- **ブレーキ液を補給するときは、リザーバータンク内にゴミや水が混入しないようにしてください。**
- **液面はブレーキパッドの摩耗と共に下がってきます。液が早く減少するようでしたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。**
- **ブレーキ液は安全のために2年ごとに交換してください。**

JCA12331

注 意

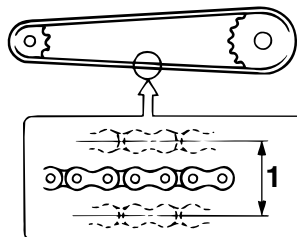
- **ブレーキ液の補給は、入れすぎに注意してください。入れすぎると、ダイヤフラムなどを取り付けたときに、あふれます。**
- **ブレーキ液が塗装面やプラスチック、ゴム**

6

類に付着すると部品が腐食することがあります。付着したら、すぐにふき取ってください。

JAU22762

ドライブチェーン

JAU51441

ドライブチェーンの点検

1. ドライブチェーンのたわみ量

ギヤをニュートラルにしてサイドスタンドを立てます。前後スプロケット間のチェーン中央部に、約 50N (5.0 kgf) の荷重をかけ上下に動かします。このとき、たわみ量が規定の範囲にあるかをスケールなどで点検します。

要　点

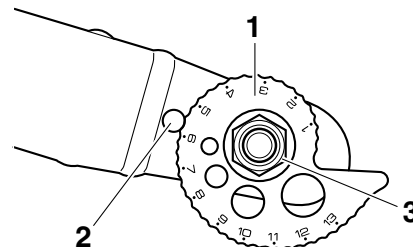
ドライブチェーンのたわみ量を点検するときは、車体に荷重を掛けないで行います。

ドライブチェーンたわみ量： 40.0–45.0 mm

ドライブチェーンのたわみ量が規定の範囲にない場合は、たわみ量を調整します。
また、車体を前後にゆっくり動かしてチェーンが滑らかに回転するか、給油は充分かを点検します。
ドライブチェーンたわみ量の調整は、ヤマハ販売店にご相談ください。

JAU22963

ドライブチェーンたわみ量の調整

1. セルフロッキングナットをゆるめます。
2. チェーンプラーを左右均等に回転させ、同じ位置でストッパーに合わせます。

1. チェーンプラー
2. ストッパー
3. セルフロッキングナット

要　点

目盛りを左右同じ位置にします。

3. チェーンのたわみ量が規定値になるように調整します。
4. 調整後、セルフロッキングナットを規定のトルクで締め付けます。

締め付けトルク：
セルフロッキングナット：
85 Nm (8.5 m · kgf)

5. 左右のチェーンプラーが同じ位置にあるか、ドライブチェーンたわみ量が規定の範囲にあるか、チェーンが滑らかに回転するか確認します。

JAU23026

ドライブチェーンの給油

1. リヤホイールを浮かし、ホイールを手でゆっくり回しながら、チェーンやスプロケットに付着した泥や汚れを柔らかいブラシなどで落とします。その後、ヤマルーブ スーパーチェーンクリーナーで洗浄します。
2. チェーンを乾燥させた後、リヤホイールを手でゆっくり回しながら、チェーンにヤマルーブ 180 チェーンオイルを給油します。

JCA12471

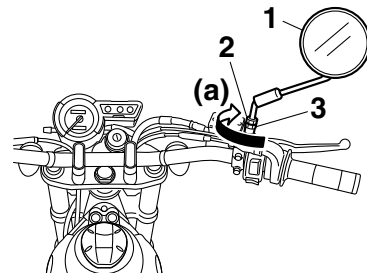
注 意

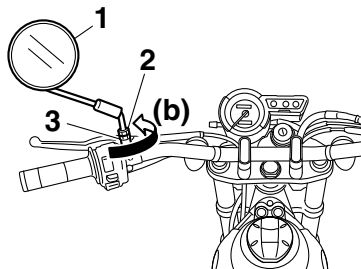
この車はシールチェーンを採用しています。取り扱いには以下の点に注意してください。
- **スチーム洗浄はしないでください。**
- **シンナー、ガソリンなどの揮発性溶剤やワイヤーブラシを使用して洗浄しないでください。**

JAU43302

バックミラー

バックミラーの脱着のしかた

- 右バックミラー取り付けアダプターのボルト部は左ネジです。右バックミラーを取り外すときは、右バックミラー取り付けアダプターを時計回り（a）方向に回します。

1. 右バックミラー
2. 右バックミラー取り付けナット
3. 右バックミラー取り付けアダプター

- 左バックミラー取り付けアダプターのボルト部は右ネジです。左バックミラーを取り外すときは、左バックミラー取り付けアダプターを反時計回り（b）方向に回します。

1. 左バックミラー
2. 左バックミラー取り付けナット
3. 左バックミラー取り付けアダプター

- バックミラーの取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

要　点

- 右バックミラー取り付けナットは、右ネジです。
- 左バックミラー取り付けナットは、左ネジです。

JAU28621

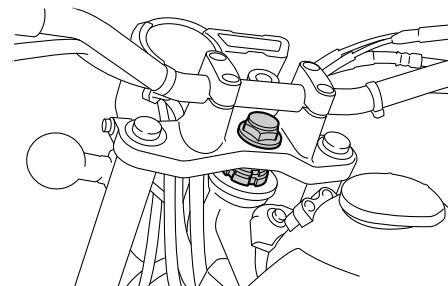
車体各部の給油脂状態の点検

車体各部の給油脂状態が充分であるかを点検します。

異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU28651

アンダーブラケットの取り付け状態の点検（ステアリングステム）

アンダーブラケットの締付ボルトまたは締付ナットに、ゆるみがないかを工具で点検します。

締付ボルトまたは締付ナットにゆるみがあるときは、ヤマハ販売店で規定トルクでの締め付けを依頼してください。

JAU28762

バッテリー

バッテリーの点検

この車のバッテリーは密閉式です。
バッテリー液の補充、点検は不要です。
バッテリーに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。
バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、バッテリーを取り外して清掃します。

JWA11811

警 告

バッテリーは引火性ガス（水素ガス）を発生しますので、取り扱いを誤ると爆発し、ケガをすることがあります。次の点を必ず守ってください。

- **火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。爆発のおそれがあります。**
- **補充電は風通しのよいところで行ってください。**
- **ガソリン、油、有機溶剤などを付着させないでください。電そう割れの原因となることがあります。**
- **落下などの強い衝撃を加えないでください。**
- **バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。**
- **子供の手の届くところに置かないでください。**

応急手当

- **万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときはすぐに多量の水で洗い流してください。**
- **目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。**

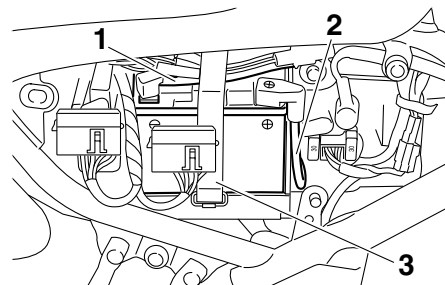
JCA12142

注 意

- **このバッテリーは密閉式の 12V です。**
- **このバッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。**
- **補充電には、密閉式バッテリー専用充電器を使用してください。くわしくはヤマハ販売店にご相談ください。**
- **長期間ご使用にならないときは、3 か月ごとに補充電してください。**
- **バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。**

JAU28912

バッテリーの取り外し

1. メインスイッチを OFF にします。
2. カバー C/D を取り外します。（カバーの取り外しは 6-2 ページ参照）
3. バッテリーバンドを外します。
4. －（マイナス）側リード線を外し、次に＋（プラス）側リード線を外します。
5. バッテリーを取り外します。

1. －リード線
2. ＋リード線
3. バッテリーバンド

バッテリーの取り付け

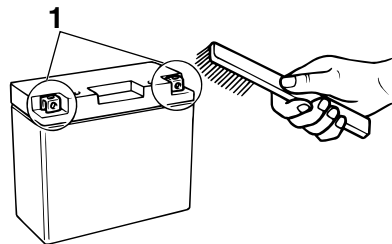
取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

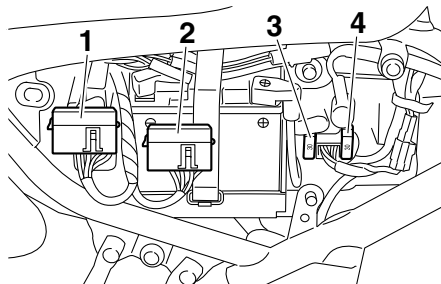
JAU29411

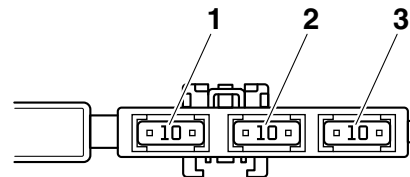
ターミナル部の清掃

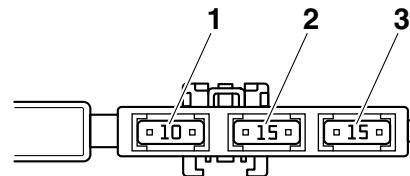
バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、やわらかいブラシなどで清掃します。また、白い粉がついているときは、ぬるま湯を注いでよくふき取ります。

1. ターミナル

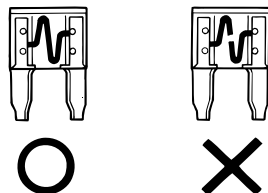
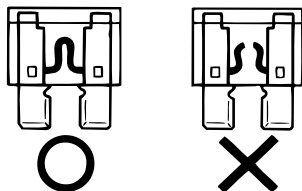
JAU45332

ヒューズ交換

メインヒューズと系統別ヒューズボックスは、カバーD を外したところにあります。(6-2 ページ参照)

1. 系統別ヒューズボックス 1
2. 系統別ヒューズボックス 2
3. メインヒューズ
4. スペアメインヒューズ

系統別ヒューズボックス 1

1. フューエルインジェクションヒューズ
2. イグニッションヒューズ
3. スペアヒューズ

系統別ヒューズボックス 2

1. シグナルヒューズ
2. ヘッドライトヒューズ
3. スペアヒューズ

ヒューズが切れた場合、以下のように交換します。

1. メインスイッチを OFF にします。
2. 切れたヒューズを外し、規定アンペア数の新しいヒューズを取り付けます。

メイン : 30.0 A イグニッション : 10.0 A シグナル : 10.0 A ヘッドライト : 15.0 A フューエルインジェクション : 10.0 A

JCA12862

注 意

- **交換するヒューズは、指定されている容量のヒューズを使用してください。指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。**
- **電装品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。**
- **洗車時ヒューズボックスのまわりに水を強く吹き付けないでください。漏電や短絡（ショート）の原因になります。**

3. メインスイッチを ON にし、装置が正しく作動することを点検します。
4. ヒューズを交換してもすぐに切れるときは、ヤマハ販売店で電気系統の点検を受けてください。

JAU29443

灯火装置および方向指示灯の点検

1. メインスイッチを ON にします。
2. テールランプ、ブレーキランプなどの灯火装置や方向指示灯の点灯・点滅具合が良好かを点検します。
3. エンジンを始動し、ヘッドライトの点灯状態が良好かを点検します。
4. レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

点灯しないときはヒューズを点検（6-17 ページを参照）し、異常がないときは電球を交換してください。

JCA12062

注 意

電球は、指定されているワット数・規格のもの（「製品仕様」のページを参照）を使用してください。指定以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

JAU29571

運行において異常が認められた箇所の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。

JAU35123

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。
すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなります。

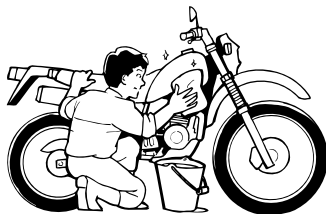
JCA13083

注 意

お車によってはマット塗装（ツヤ消し塗装）が施されています。お車の手入れの前にヤマハ販売店で、どのようなアフターケア用品を使用したら良いか、ご相談することをおすすめします。また、マット塗装部分のお手入れをするときは、以下の点に注意してください。
- **洗車などでブラシは使用しないでください。塗装を傷つけることがあります。**
- **ワックスがけはしないでください。ふき残しなどにより、外観が変化することがあります。**
- **コンパウンドは使用しないでください。マット塗装の表面が研磨されて、光沢がでることがあります。**
- **マット塗装部分の補修が必要な場合は、ヤマハ販売店にご相談ください。**

JAU27846

洗車

雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をサビやキズから守ります。
- 中性洗剤を使用して洗車した後、充分に水洗いします。
- 柔らかい布で、車に付着した水分をよくふきとります。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。
- 車の塗装面保護のため、ワックスがけをしてください。（マット塗装部分を除く）

JWA11931

警 告

- **洗車はエンジンが冷えているときにしてください。**
- **洗車後、ブレーキの効きが悪くなることがあります。効きが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。**
- **ブレーキディスクやパッドにワックスやグリースなどの油脂類をつけないでください。ブレーキが効かなくなり、事故の原因になることがあります。**

JCA12214

注 意

- **エアクリーナーや電装品などに水が入らないように注意してください。故障の原因になります。**
- **マフラー内部に水がたまると、始動不良やサビの原因になることがあります。洗車時はビニール袋をかけるなどして、内部に水が入らないようにしてください。**
- **ヘッドライト、メーターパネル、カバーなどのプラスチック部品にガソリンやブレーキ液、アルカリ性および強酸性のクリーナー、その他の溶剤などがかかると、ヒビ割れなどの原因になりますので注意してください。また、コンパウンドの入ったワックスは、表面を傷つけますので使用しないでください。**

- **ウインドシールド、ヘッドライトレンズ、メーターレンズ、カウル、パネルなどのプラスチック部品やマフラーは、清掃のしかたを誤ると外観を損ねたり損傷したりします。まず、柔らかくて清潔な布やスポンジを使用し、水洗いしてください。もし、汚れが充分に落ちないときは、少量の中性洗剤を水で薄めて清掃してください。中性洗剤を使用して清掃した後は、大量の水で洗剤を完全に洗い落としてください。洗剤の成分が残っていると、プラスチック部品が損傷するおそれがあります。**
- **高圧洗車機やスチーム洗浄機は使用しないでください。水が侵入し、故障の原因となることがあります。**

要　点

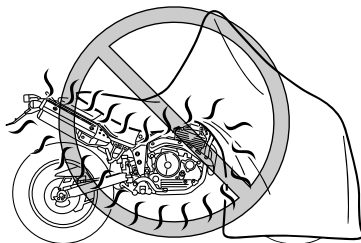
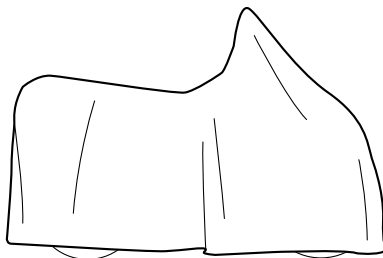
- 書類入れ付近に水を強くかけないでください。内部に水が入り、書類が濡れることがあります。
- 洗車後、雨天走行後、または湿度が高い天候のときなど、ヘッドライトのレンズが曇ることがあります。このような曇りは、ヘッドライトを短時間点灯することで自然に取れます。

JAU35912

保管のしかた

車はできるだけ敷地内に保管し、屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。

なお、ボディーカバーはエンジンやマフラーが冷えてからかけてください。

JCA13111

注意

長期間お乗りにならないときは、以下のことを守ってください。

- **保管する前にワックスがけをしてください。（マット塗装部分を除く）サビを防ぐ効果があります。**
- **バッテリーを取り外し、充電器で満充電にした後、湿気のない涼しい場所に保管してください。また、バッテリーの劣化を抑えるため、3 か月ごとに補充電を行ってください。**
- **長期保管後の走行前には、バッテリーの充電、および各部の点検をしてください。**

※ 補充電については、ヤマハ販売店にご相談ください。

JAU28083

アフターケア用品について

大切な車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。ヤマハの車には、ヤマハ純正用品をご使用ください。

JAU28113

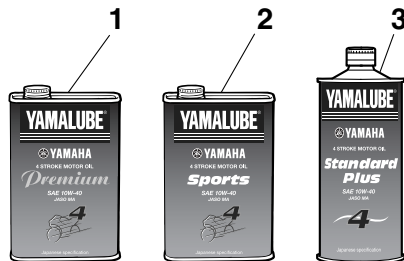
ヤマルーブプレミアム

高回転・高負荷下でも油膜保持性能が高く、高性能エンジン搭載の中・大型車に最適な高品質オイルです。

ヤマルーブスポーツ

オイル消費を抑え、高速走行、ロングツーリングなどでも優れた性能を発揮するマルチタイプのオイルです。

ヤマルーブスタンダードプラス

タウン走行から、タフな業務使用にも適し、経済的にも優れたコストパフォーマンスオイルです。

1. ヤマルーブプレミアム
2. ヤマルーブスポーツ
3. ヤマルーブスタンダードプラス

JAU28202

ヤマルーブ　ブレーキフルード　BF-4 (DOT-4)

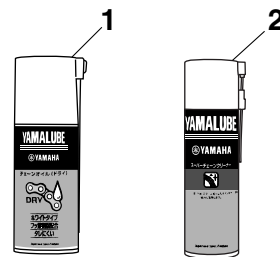
高沸点、防錆性、安定性、ゴム劣化防止性に優れたブレーキフルードです。

JAU28222

ヤマルーブ 180 チェーンオイル

フッ素樹脂配合により耐摩耗性、耐熱性に優れたチェーンオイルです。“ドライ” と “ウェットムースタイプ” があります。

ヤマルーブ スーパーチェーンクリーナー

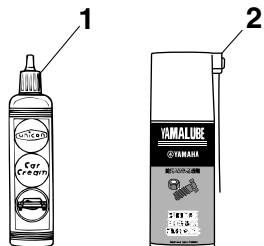
チェーンに付着したグリースやオイルなどの油汚れを手軽に素早くクリーニングします。

1. ヤマルーブ 180 チェーンオイル
2. ヤマルーブ スーパーチェーンクリーナー

JAU28362

ユニコンカークリーム（ワックス）

塗装面の汚れを簡単にとり、手間をかけずに美しい光沢が得られます。また、どんな塗装にも使用できる伸びのよいワックスです。

ヤマルーブ 防錆潤滑浸透剤

防錆、潤滑、防湿、浸透力に優れた金属保護液です。

1. ユニコンカークリーム
2. ヤマルーブ 防錆潤滑浸透剤

寸法 :
全長 :
1980 mm
全幅 :
800 mm
全高 :
1145 mm
シート高 :
810 mm
軸間距離 :
1330 mm
最低地上高 :
280 mm

重量 :
車両重量 :
125 kg
分布荷重（前）:
59 kg
分布荷重（後）:
66 kg
車両総重量 :
235 kg
分布荷重（前）:
85 kg
分布荷重（後）:
150 kg

乗車定員 :
2 名

性能 :
定地燃費（国土交通省届出値）:
39.0 km/L/60 km/h
最小回転半径 :
1900 mm
最高出力 :
14 kW@7500 r/min
(18 PS@7500 r/min)
最大トルク :
19 Nm@6500 r/min
(1.9 kgf-m@6500 r/min)

エンジン :
原動機種類 :
4 ストローク空冷 SOHC
気筒数・配列 :
単気筒
総排気量 :
249 cm^3
内径 x 行程 :
74.0 × 58.0 mm
圧縮比 :
9.50 : 1
エアフィルターエレメント :
湿式ろ紙

クラッチ形式 :
湿式多板
変速機形式 :
常時噛合式 5 速
始動方式 :
セル式

車体 :
フレーム形式 :
セミダブルクレードル
キャスター :
25.17 °
トレール :
92 mm

ステアリングシステム :
ハンドル切れ角（左）:
48.0 °
ハンドル切れ角（右）:
48.0 °

燃料 :
フューエルタンク容量 :
7.2 L
予備容量 :
2.0 L

フロントブレーキ :
ブレーキ形式 :
油圧式シングルディスクブレーキ

製品仕様

リヤブレーキ :
ブレーキ形式 :
油圧式シングルディスクブレーキ
懸架方式 :
種類（前）:
テレスコピック
種類（後）:
スイングアーム（リンク式）
緩衝方式 :
ショックアブソーバータイプ（前）:
コイルスプリング / オイルダンパー
ショックアブソーバータイプ（後）:
コイルスプリング / ガスオイルダンパー
フロントタイヤ :
種類 :
チューブ有り
サイズ :
80/100-19M/C 49P
メーカー / 銘柄 :
BRIDGESTONE/TW201
リヤタイヤ :
種類 :
チューブ有り
サイズ :
120/90-16M/C 63P
メーカー / 銘柄 :
BRIDGESTONE/TW202
トランスミッション :
1 次減速比 :
3.083 (74/24)
1 速 :
2.846 (37/13)
2 速 :
1.812 (29/16)
3 速 :
1.318 (29/22)
4 速 :
1.035 (29/28)
5 速 :
0.821 (23/28)
2 次減速比 :
3.000 (45/15)
エレクトリカル :
点火方式 :
TCI
ヘッドライト :
ヘッドライト球 :
ハロゲンバルブ
バルブワット数 x 個数 :
ヘッドライト :
12 V, 60.0 W/55.0 W × 1
テール / ブレーキランプ :
12 V, 5.0 W/21.0 W × 1
方向指示灯（前）:
12 V, 10.0 W × 2
方向指示灯（後）:
12 V, 10.0 W × 2
メーター灯 :
14 V, 3.0 W × 1
パイロットランプワット数 x 個数 :
ニュートラルランプ :
12 V, 1.7 W × 1
方向指示器表示灯 :
12 V, 1.7 W × 1
ヘッドライト上向き表示灯 :
12 V, 1.7 W × 1
燃料残量警告灯 :
14 V, 3.0 W × 1
エンジン警告灯 :
12 V, 1.7 W × 1
エンジンオイル :
推奨オイル :
ヤマルーブ プレミアム、スポーツ、スタンダードプラス
エンジンオイル量 :
オイルフィルターエレメント無交換時 :
1.20 L

オイルフィルターエレメント交換時 :
1.30 L

ドライブチェーン :
たわみ量 :
40.0–45.0 mm

ブレーキレバーとブレーキペダル :
フロントブレーキレバー遊び :
2.0–5.0 mm

ケーブルとレバーの遊び :
スロットルグリップ遊び :
3.0–5.0 mm
クラッチレバー遊び :
10.0–15.0 mm

フロントディスクブレーキ :
パッド厚さ（内側）:
5.3 mm
使用限度 :
0.8 mm
パッド厚さ（外側）:
5.3 mm
使用限度 :
0.8 mm
指定ブレーキフルード :
BF-4 (DOT-4)

リヤディスクブレーキ :
パッド厚さ（内側）:
5.5 mm
使用限度 :
1.5 mm
パッド厚さ（外側）:
5.5 mm
使用限度 :
1.5 mm
指定ブレーキフルード :
BF-4 (DOT-4)

ホイールトラベル :
ホイールトラベル（前）:
180 mm
ホイールトラベル（後）:
172 mm

タイヤ空気圧（冷間時）:
前輪（1 名乗車）:
125 kPa (1.25 kgf/cm^2)
後輪（1 名乗車）:
150 kPa (1.50 kgf/cm^2)
前輪（2 名乗車）:
150 kPa (1.50 kgf/cm^2)
後輪（2 名乗車）:
175 kPa (1.75 kgf/cm^2)

高速走行 :
前輪（1 名乗車）:
125 kPa (1.25 kgf/cm^2)
後輪（1 名乗車）:
150 kPa (1.50 kgf/cm^2)
前輪（2 名乗車）:
150 kPa (1.50 kgf/cm^2)
後輪（2 名乗車）:
175 kPa (1.75 kgf/cm^2)

バッテリー :
バッテリー型式 :
YTZ7S
バッテリー容量 :
12 V, 6.0 Ah

点火タイミング :
点火時期 (B. T. D. C.):
10.0 ° /1400 r/min

スパークプラグ :
メーカー / 型式 :
NGK/DR7EA
プラグギャップ :
0.6–0.7 mm

ヒューズ容量 :
メイン :
30.0 A

ヘッドライト：
15.0 A
シグナル：
10.0 A
イグニッション：
10.0 A
フューエルインジェクション：
10.0 A

JAU36641

二輪車を廃棄する場合は？

廃棄を希望する場合は？

廃棄を希望される二輪車がある場合は、お近くの「廃棄二輪車取扱店」にご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは？

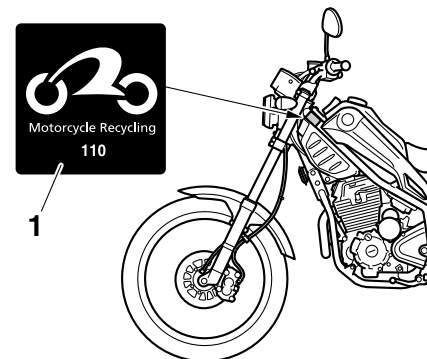
（社）全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されているお店が「廃棄二輪車取扱店」です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口として、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。

1. 廃棄二輪車取扱店の証

リサイクル費用とは？

廃棄二輪車を適正に処理し、再資源化する費用です。二輪車リサイクルマークが車体に貼付されている二輪車は、リサイクル費用をメーカー希望小売価格に含んでいますので、リサイクル料金はいただきません。
ただし、リサイクル費用には運搬および収集料金は含まれていませんので、廃棄二輪車取扱店または指定引取場所までの運搬・収集料金は、お客様の負担になります。運搬・収集料金につきましては、廃棄二輪車取扱店にご相談ください。

二輪車リサイクルマークの取り扱い

この車には、下図の位置に二輪車リサイクルマークが貼付されています。
廃棄時に二輪車リサイクルマークの有無を確認しますので、絶対に剥がさないでください。二輪車リサイクルマークは、剥がれや破損による再発行、部品販売の取り扱いはございません。
剥がれや破損でリサイクルマーク付き対象車かどうかが不明の場合は、下記へお問い合わせください。

1. 二輪車リサイクルマーク

廃棄二輪車に関するお問い合わせについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」または下記へお問い合わせください。
（財）自動車リサイクル促進センターホームページ
http://www.jarc.or.jp/
二輪車リサイクルコールセンター
電話番号　０３－３５９８－８０７５
受付時間　９時３０分～１７時００分（土・日・祝日・年末年始等を除く）

JAU28392

サービスマニュアル（別売）の紹介

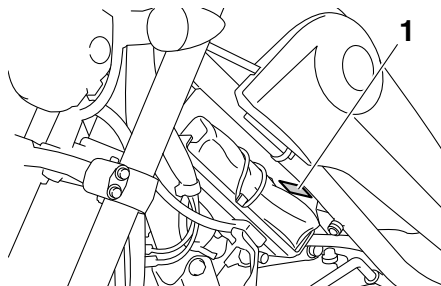
サービスマニュアルには、点検・調整や分解・組立の方法を写真やイラストを用いて説明してあります。車の概要や構造を理解するためにご利用ください。
サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください。

> **XG250/XG250S**
> **サービスマニュアル　部品番号：**
> QQS-CLT-001-5XT

JAU50492

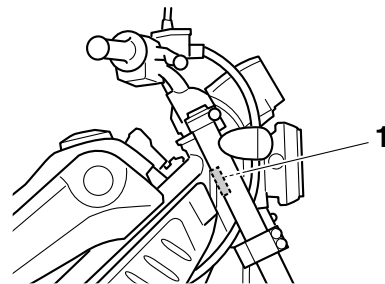
車両情報

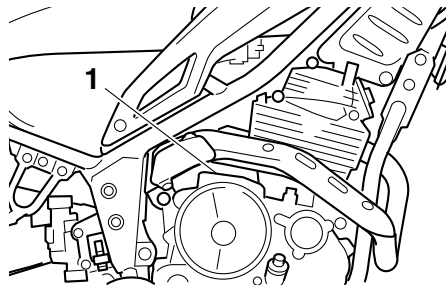
モデルラベル

パーツオーダー、アフターサービスなどに使用します。
モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化したものです。ご相談の際には、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。
モデルラベルは、カバーA を外したところに貼り付けてあります。

1. モデルラベル

> **あなたの車の情報を記入し、控えにしてください。**
> 車名は
> tricker XG250
> モデルラベル
> 製品仕様を示しています。
> ○
> カラーリングを示しています。
> ●

JAU50501

車台番号

1. 車台番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

JAU50511

原動機番号

1. 原動機番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

JAU50521

型式認定番号

1. 型式認定番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

索引

10

あなたの街のあなたのお店

最寄りのお客様相談窓口については、メンテナンスノートの巻末をご覧ください。

QQS-CLT-109-5XT

再生紙を使用しています

PRINTED IN JAPAN
2013.11-0.3 ×1
(J)